

燃料油配管のガスケット組込みミスにより ガスタービンから出火した**【発生状況】**

ガスタービン燃焼器ノズル点検後の試運転において、燃料油（灯油）が漏洩し火災が発生した。

調査を行った結果、燃料油配管のガスケットが溝から外れて組み込まれており、これが原因でフランジの片締め・燃料の漏洩・出火に至ったと判明した。

**【原因・問題点】**

- ①狭所であったため、ガスケット組み込み時、フランジ締め付け時の目視確認が十分にできていなかった。
- ②ガスケット組み込み時、溝にガスケットを入れてから ボルトを手締めしたので、ガスケットが外れると思っていたいなかった。

【対策】

- ①狭所など目視確認が難しい箇所は、点検鏡、ファイバースコープなどを使用して確認する。
- ②ガスケットを正しく組み込んでも、締め付け時に負荷や衝撃によってずれることがあることを理解して作業を行う。